

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年11月10日

計画の名称	市民に親しまれる都市公園の整備事業												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	人間市												
計画の目標	<p>緑の基本計画では、人間市のまちづくりのビジョンである「香り豊かな緑の文化都市」を目指し、緑の拠点、骨格である「加治丘陵」の保全・活用を中心とし良好な住環境を形成すると位置付けられている。</p> <p>良好な住環境の形成を実現するため、市民に親しまれる都市公園の整備事業として、「加治丘陵さとやま計画」において「自然環境と調和し、広く市民に親しまれる人間市のシンボリックな公園」と位置付けられている「(仮称)加治丘陵さとやま自然公園」、狭山台地区の中心的な公園となる「(仮称)狭山台地区近隣公園」について、事業の推進を図り、市民に潤いと憩いの場を提供する。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	685	A	685	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	(仮称)加治丘陵さとやま自然公園予定区域の緑地を保全するため、公有地化率を53%(H30当初)から63%(H34末)に向上 (仮称)加治丘陵さとやま自然公園の公有地化率(%) (公有地化率) = (公有地面積) / (総面積: 110.2ha)	53%	59%	63%
2	人間市における100人当たり都市公園面積を345㎡(H30当初)から360㎡(H34末)に向上 人間市民100人当たり都市公園面積の向上 (100人当たり都市公園面積) = (市内全都市公園面積) / (人間市人口: 平成30年1月1日時点148,723人)	345㎡ / 100人	345㎡ / 100人	360㎡ / 100人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
1. (仮称)加治丘陵さとやま自然公園の公有地面積・当初現況値: 58.32ha・中間目標値: 64.92ha・最終目標値: 69.32ha2. 市内全都市公園面積・当初現況値: 市内全都市公園面積51.34ha・中間目標値: 市内全都市公園面積51.34ha・最終目標値: 市内全都市公園面積53.49ha														

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	入間市	直接	入間市	-	-	都市公園事業(仮称) 加治丘陵さとやま自然公園)	用地取得 110.2ha	入間市						330	-	-	
		継続事業																		
	A12-002	公園	一般	入間市	直接	入間市	-	-	都市公園事業(仮称) 狭山台地区近隣公園)	公園整備 2.15ha(広場・駐 車場)	入間市							355	算出中	-
			費用便益比はH31.10までに算出予定																	
												小計						685		
											合計						685			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>社会資本総合整備計画の事後評価として入間市で実施</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和5年度</p> <p>公表の方法</p> <p>市ホームページ及び窓口</p>
--	---

事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>(仮称)加治丘陵さとやま自然公園事業面積110.2haのうち、計画当初583,231.29㎡であった公有地面積は、平成30年度から令和4年度に合計88,065㎡(寄附191㎡を含む)を取得した結果、令和4年度末時点で671,296.29㎡、用地取得率は60.92%となった。今後の施設整備予定箇所や遊歩道沿いの土地を含む用地の公有地化を着実に進めたことにより、広範囲に渡る山林管理の推進が図られ、里山をテーマとした自然環境の保全と訪れる散策者への良好な山林環境の提供を行うことができた。また、遊歩道沿いの用地や「探検の森 展望園地」の整備予定箇所等、事業における重要な用地の取得も行った。なお、交付金対象外の事業ではあるものの過去に取得した用地に「四季の森 花見の丘」の施設整備を行ったことにより、公園予定地内の施設の充実が進み、利用環境が向上した。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)</p>	

特記事項(今後の方針等)

<p>・(仮称)加治丘陵さとやま自然公園事業は、次期社会資本総合整備計画においても継続して事業を進めていく。今後も用地取得を計画的に進め、施設整備に取り組んでいく。市民に潤いと憩いの場の提供することを視野に入れ、完成済の施設を対象とした一部開設告示について引き続き検討する。</p> <p>・(仮称)狭山台地区近隣公園事業は、整備方針の変更があり、今回の計画期間中は事業を行わなかった。今後、新たな整備方針、新たな整備計画を定め、適切に事業を進めていく。</p>
---

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	公有地化率（％）		
	最終目標値	63%	地権者交渉の結果、想定した面積の取得に至らなかった。
	最終実績値	61%	
2	人間市民100人当たり都市公園面積（㎡ / 100人）		
	最終目標値	360㎡ / 100人	予定していた（仮称）狭山台地区近隣公園の整備は先送りしたため、交付対象事業の効果は発現していない。 交付対象事業以外の公園を都市公園として供用したことに伴い数値は変動した。
	最終実績値	360㎡ / 100人	